

花海道水辺広場の修景

- ・「立会川・勝島まちづくりビジョン」に基づき、水辺の回遊性やエリア間のネットワーク向上を目的にまちづくりを進めている
- ・令和6年度に花海道の基本・実施設計、令和7年度に新浜川公園の基本設計
- ・令和9～10年度に、しながわ花海道水辺広場の修景工事を予定しているが、同箇所において東京都港湾局が「東京港における高潮対策」として高潮護岸の整備を計画しており、現在、整備時期や内容について調整中



小型浮棧橋の利活用 （水上アクティビティ拠点）

- ・水辺利活用推進計画に基づき、地元団体等の日常的な水辺利活用の取り組みを支援
 - ・令和7年度は地元団体が管理する浮棧橋改修を支援
 - ・今後は、浮棧橋を水上アクティビティの拠点として実施する、地元団体の取り組みを支援
- （例）花海道のイベントに合わせた非動力船の体験乗船、環境学習など



橋梁等ライトアップ

- ・整備から5年が経過し不具合が発生しており、既存ライトアップ施設の更新や、水辺利活用推進計画に基づく新たなライトアップ手法等の検討を照明デザイナー監修のもとで実施するため、プロポーザル方式により委託事業者を決定し、令和7年12月に契約を締結
- ・令和8年度にかけて、持続可能なライトアップを目指し、維持管理を重視した整備方法や効果的な演出等の検討を行い、水辺のライトアップ構想を策定予定
- ・あわせて、東京都が設置した「ライトアップ促進協議会」等を活用し、国や都の施設へのライトアップ実施や民間施設のライトアップとの連携を促進

船着場利活用

- ・大井競馬場船着場（民間所有）や、大井心頭中央海浜公園船着場（東京都所有）が整備されており、大井競馬場船着場は地域のイベント等で利用
- ・周辺地域の防災機能強化に向け、都の船着場を利用した防災訓練を継続的に実施するよう東京都に働きかけるとともに、地域のイベントなど平常時における利活用の促進に向け、関係者と連携